定例庁議次第

令和7年8月26日
役場2階第2会議室

1. 開 会

2. 挨拶

3. 審議事項

なし

4. 報告事項

なし

5. 議案事項

- (1) 吉岡町職員の育児休業等に関する条例及び吉岡町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例 (総務課 小林課長)【資料番号1】

6. その他

7. 閉会

8月26日 庁議提出案件【概要説明書】

- 内 容【3. 議案事項（1. 議案）】
- 公 開【1. 公開】
- 公開時期【1. 庁議後】
- 概要説明【1. 要】

付議者 総務課長 小林 康弘

【件 名】

吉岡町職員の育児休業等に関する条例及び吉岡町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について

【目 的】

現行の部分休業を第1号部分休業としたうえで、1年につき条例で定める範囲内において取得ができる第2号部分休業の導入に必要な所要の改正を行うもの。また、子の年齢に応じた柔軟な働き方を実現するための措置として妊娠、出産等についての申出をした職員等に対する意向配慮等を行うこと及び3歳に満たない子を養育する職員に対する育児に係る両立支援制度に関する情報提供・意向確認等を行うこととするもの。

【改正内容】

- 1 吉岡町職員の育児休業等に関する条例の一部改正（第1条による改正関係）

部分休業の取得について、現行の1日につき2時間を超えない範囲内の形態（第1号部分休業）に加え、1年につき10日を超えない範囲内の形態（第2号部分休業）が設けられ、職員はいずれかの形態を選択することができるようになることに伴い、条例に次の規定を加える。

 - (1) 部分休業の取得を申し出る単位期間（1年の期間）は、毎年4月1日から翌年3月31日までとする。
 - (2) 職員が1年につき取得できる第2号部分休業の上限は、第1号の期間につき、常勤職員は77時間30分、非常勤職員は1日当たりの勤務時間に10を乗じて得た時間とする。
- 2 吉岡町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正（第2条による改正関係）

任命権者は、妊娠、出産等を申し出た職員又は3歳に満たない子を養育する職員に対し、仕事と育児との両立に資する制度、措置等について知らせるとともに、これらの利用に係る意向を確認するための措置を講じることとする。
- 3 施行期日等
 - (1) 施行期日（附則第1条関係）

令和7年10月1日
 - (2) 第2号部分休業に関する経過措置（附則第2条関係）

令和7年度における第2号部分休業の請求可能期間に応じ、第2号部分休業の請求可能な時間数を平年の半分とするもの。
 - (3) 子の年齢に応じた柔軟な働き方を実現するための措置に関する経過措置（附則第3条関係）

子の年齢に応じた柔軟な働き方を実現するための措置について漏れなく実施するた

めの経過措置を設けるもの。

【上程予定】

令和7年第3回定例会（9月定例会）